

二 辯護士、公證人、執達吏等ノ狀況
 (イ) 辯護士ノ狀況

昭和十八年十月一日現在ニ於ケル朝鮮辯護
 士ノ總人員ハ内地人百四十九名朝鮮人二百
 三十五名合計三百八十四名ニシテ前年十月
 一日現在ニ比シ内地人二名朝鮮人二十一
 合計二十三名ヲ増加シ逐年増加ノ趨勢ニ在リ
 二、資格
 内地人及朝鮮人ノ辯護士資格別ヲ擧グレバ
 左ノ如シ

資格	別	内地人	朝鮮人	計
帝國大學法學部法律學科卒業		一七	三	二〇

資格	別	内地人	朝鮮人	計
元判事、檢事		五		五
元朝鮮總督府判事、檢事		六一	一〇九	一七〇
高等試驗司法科合格		六	二〇	二六
内地辯護士試驗合格		一九	一	二〇
朝鮮辯護士試驗合格		三六	七三	一〇九
大正十一年勅令第三號ニ依ルモノ		三		三
大正十二年法律第五十二號ニ依ルモノ		二	三	五
元統監府判事			五	五
舊韓國判事			二	二
舊韓國辯護士			八	八
合計		一四九	二三五	三八四

三、分布

逐年辯護士ノ救ヲ増加スル傾向ニ在ルコト
 冒頭記載ノ如クナルヲ以テ本府ハ朝鮮辯護
 士令ノ認可主義ヲ善用シ之カ地方的分布ノ
 適正ニ付適當ナル按配ヲ講スルノ方針ヲ採
 リ辯護士ノ收入ノ平衡ニ依ル各自ノ地位ノ
 安固ヲ保タシメ以テ品位ノ向上ヲ圖リ且各
 地ニ於ケル訴訟ノ運用ヲ圓滑ナラシメント
 シタル結果漸次僻遠ノ地ニモ開業スルモノ
 ヲ見ルに至リシト雖モ元來朝鮮ハ内地ト異
 リ京城平壤大邱釜山ト他ノ法院並ニ同支廳
 リ所在地トニ於ケル貧富ノ懸隔甚シキ爲事務
 所ヲ支持スルニ足ルベキ收入ノ件ハガ爾箇
 所多キ等ノ事情ニ依リ今遽ニ分布ノ適正ヲ
 期スルコト困難ナルモ其ノ理想ノ實現ニ付
 テハ相當ノ考慮ヲ要スルノ實情ニ在リ而シ
 テ現在ニ於ケル辯護士ノ分布狀況左ノ如シ

合計	朝鮮人	内地人	内 鮮 所 屬
△ 一四六	△ 八〇	△ 六六	京城
一九	一〇	九	大田
二三	一四	九	咸興
八	三	五	清津
四五	三五	一〇	平壤
一九	一五	四	新義州
一二	九	三	海州
三三	二三	一〇	大邱
△ 三四	△ 一六	△ 一八	釜山
三二	二二	一〇	光州
一三	八	五	全州
△ 一三四	△ 二三五	△ 一四九	計

本表中△印ハ事實上事務所ヲ撤廢セル者
 朝鮮外ノ居住者ニシテ内書トス
 四、風紀
 從來辯護士ノ風紀ハ概シテ良好ナリシモ近

五、
 來辯護士ノ數增加シ動モスレバ利慾ノ念ニ馳
 ラレ具ノ品位信用ヲ失墜スルカ如キ行爲ニ出
 テ懲戒處分ニ附セラレタルモノアリシガ當局
 ニ於テモ銳意風紀ノ廓清ニ意ヲ致シ具ノ取締
 ヲ嚴重ニシスノ程弊風ノ防止ニ努メ居レリ

内、
 鮮人殊ニ國語ニ熟ハザル舊韓國時代ノ辯護
 士タリ者ニ在リテハ一般ニ法律知識ノ辯護
 士キ感アリ然レドモ逐年増加スル少壯辯護
 ハ概ニテ優秀ノ者多ク其ノ素質亦漸次改善ノ
 域ニ在リテ優劣各勤勉ノ程度社交ノ巧拙等ニ
 リ其ノ技能ノ優劣各勤勉ノ程度社交ノ巧拙等ニ

依リ自ラ差異アルヲ免レザルモ内鮮人共一般
 相當ノ收入ヲ得ツアリテ今昭和十七年中
 依リ自ラ差異アルヲ免レザルモ内鮮人共一般
 相當ノ收入ヲ得ツアリテ今昭和十七年中
 依リ自ラ差異アルヲ免レザルモ内鮮人共一般
 相當ノ收入ヲ得ツアリテ今昭和十七年中

朝鮮人	内地人	京城	平壤	大邱	釜山	新義州	光州
三八六九圓	六六一圓	四二一圓	二四一圓	六二四圓	三三二圓	三三五圓	三七五圓
四二一圓	二四一圓	二四一圓	六二四圓	三三二圓	三三五圓	三七五圓	三七五圓
二四一圓	六二四圓	三三二圓	三七五圓	三七五圓	三七五圓	三七五圓	三七五圓
二四一圓	六二四圓	三三二圓	三七五圓	三七五圓	三七五圓	三七五圓	三七五圓
二四一圓	六二四圓	三三二圓	三七五圓	三七五圓	三七五圓	三七五圓	三七五圓

(ロ)
 公證人
 朝鮮人
 支廳及出張所ヲ包含セスヲ除クノ外地方法院
 支廳並ニ出張所ヲ包含セスヲ除クノ外地方法院
 支廳並ニ出張所ヲ包含セスヲ除クノ外地方法院
 支廳並ニ出張所ヲ包含セスヲ除クノ外地方法院

(ハ)

執達吏職務取扱者
 朝鮮ニ於テ内地者
 ヲ設ケス朝鮮民事令ノ如ク純然タル執達吏ノ職制
 屬セシメ且該法院長ハ警察官其ノ他適當ト認
 ムル者ヲシテ該職務ヲ行ハシムルコトヲ得ル規
 定ニシテ當テ職ヲ加ニ警察官ヲシテ兼掌セシメ
 タルモ遂ニ事務ノ増加ニ伴ヒ専務者ヲ置クノ必
 要切ナル至リ漸次非官吏執達吏職務取扱者ヲ
 任命シ昭和十八年十月一日現在ニ於テ事務所
 五十八員五十三名ニ達ス而シテ全鮮地方法院
 同支廳五十九箇所中未配置ノ箇所ハ義城昭和七
 年二月朝鮮總督府令第七號ニ依リ民事及刑事
 裁判事務ヲ停止セリタル支廳一ヶ所ニ過

大邱	平壤	釜山	京城	所屬地方法院
三六三件	六八一件	二六一四件	六〇一件	法律行為
三〇五三件	四三四八件	九八六五件	二一六〇五件	其ノ他
四〇一圓六四	五四八圓五五	一三八七六圓六五	四一五七八圓〇一	手数料收入

以外鮮内樞要ノ都市ニモ公證人ヲ設置シ得ルコ
 トトシ爾來大邱釜山及平壤ノ各地方法院所在地
 ニ專務公證人一名釜山ニ名平壤一名増員シ命
 シ尚京城地方法院所屬公證人ヲ四人ニ増員シ公
 證事務ヲ取扱ハシメ居リ今昭和十七年中ニ於
 ケル公證ノ取扱事件及其ノ手数料收入額ヲ擧
 グレバ左ノ如シ

ギス尚執違吏ノ職制ニ付テハ目下調査中ニ屬ス
而シテ各地方法院同支廳別ニ配置人員ヲ擧グ
シバ左ノ如シ

○京城 四 開城 一 仁川 一 水原 一 春川(兼京城)

鐵原 一 原州 一 驪州(兼水原)

○大田 一 公州(兼各江原) 江景 一 清州 一 洪城 一

瑞山 一 忠州 一

○咸興 二 北青 一 元山 一 江陵 一 惠山 一

○清津 一 會寧(兼雄基) 雄基 一 城津 一

○平壤 二 鎮南浦(兼平壤) 安州(兼平壤) 德川(兼平壤)

○新義州(兼務) 定州 一 寧辺(兼江界) 江界 一 楚山(兼江界)

○海州 一 沙里院 一 瑞興(兼沙里院) 松禾(兼海州)

○大邱 一 安東 一 尚州(兼金泉) 慶州 一 金泉 一

盈徳(兼安東)

○釜山 二 晋州 一 統營 二 馬山 一 密陽 一

居昌(兼釜山)

○光州 二 木浦 二 順天 一 長興 一 濟州(兼木浦)

○全州 二 井邑 一 群山 二 南原 一

右非官吏執達吏職務取扱者ノ資格ニ付テハ別ニ
 定ムル所ナキモ主トシテ該職務ノ遂行上必要ナ
 ル學識經驗ハ勿論人トシテ標準トシテ以テ院長ヲ
 シテ之ガ任命及監督ニ當ラシメ居ルヲ以テ其ノ
 成績概シテ良好トシテモリ而シテ其ノ收入ハ最近
 ニ減少ヲ來シタリルモ調査スルニ左ノ如シ
 元裁判所書記 五十名
 元司法書士事務員 一名
 元巡查 一名
 其ノ他 一名

三、再犯以上者、數ニ付内地、台灣トノ比較

及之ニ對スル意見

昭和十八年九月末日現在受刑者二萬三千六百八十九人ニ付累犯者一再度以上入監者一八千八百十五人ニシテ其、歩合三四%トナリ前年同期ニ比シ八%ノ減トナレリ

之ヲ内地、台灣ニ比較スレバ左表ノ如シ

區別	受刑者總數	累犯者總數	受刑者總數對累犯者數之百分比
朝鮮	二、三、六、八九	八、〇、八、五	三四%
内地	四、二、〇、二三	二、二、五、〇、五	五五%
台灣	四、二、九、四	一、六、九、二	三九%

備考 一、内地受刑者ニ禁錮拘留受刑者ヲ含マズ 二、内地累犯者ハ刑法累犯例ニ依ルモノナリ

尚最近三ヶ年間、各新受刑者ニ付新受刑者總數ニ對スル累犯受刑者數ノ歩合ヲ見ルニ昭和十五年三四%ナリシガ昭和十六年ニ急減シ昭和十七年ニ至ルテ再ビ増加シ三五%強トナレリ

累犯者ノ處遇ニ付テハ之ヲ成ルベク初犯者ト分類拘禁シ適切ナル作業ヲ賦課シ以テ勤勞精神ヲ涵養シ更ニ規律生活ニ馴致セシムルト共ニ釋放後ノ保護指導ヲ全フシ以テ行刑有終ノ美ヲ學ガルコト緊要ナリ然レドモ現今ノ刑務所設備ノ不充分ナルト一般民衆ノ釋放者ニ對スル理解十全ナラズシテ其ノ成績未カ寥々タルハ遺憾ナリ唯釋放者ノ保

護ニ付テハ戰時下人的資源確保ヲ重要ナル
 目的トシテ昭和十六年九月朝鮮司法保護協
 會、誕生ニ引續キ昭和十七年三月朝鮮司法
 保護事業令並ニ朝鮮司法保護委員令、公布
 實施ニ伴フ司法保護委員、任命之等、司法
 保護運營、萬全ヲ期スベク法務局保護課、
 新設セララル等ハ尤モ中央、行政機構改革
 即應シテ本年十二月一日斷行セラレタル
 本府ノ局課廢合ニ依リ保護課ハ廢止セラレ
 タルモ新ニ總務課ノ一環トシテ發足シ依然
 司法保護ニ關スル事務ヲ司掌スルコトナ
 レリ、保護機構ノ飛躍的擴充ヲ遂ケタルモ
 其、全機能ヲ發揮セシメテ所期ノ成果ヲ擧

ガルヤ否ハ一ニカカリテ向後ニ於ケル之等
 司法保護ノ運營ト一般民衆ノ之等ニ對スル
 協力如何ニ在リト謂フベシ。

四、自昭和十三年
 至昭和十七年 五箇年間裁判事件累年比較表 並ニ
 判事・検事一人當負擔内地臺灣ト比較
 附 昭和十七年裁判事件表

一、自昭和十三年
至同十七年五箇年間裁判事件累年比較表

二、判事、檢事一人當負擔内地臺灣比較
附昭和十七年裁判事件表

- (1) 第一審民事訴訟事件表
- (2) 第二審民事訴訟事件表
- (3) 第三審民事訴訟事件表
- (4) 第一審民事訴訟以外事件表
- (5) 第二、三審民事訴訟以外事件表
- (6) 第一審刑事事件表
- (7) 第二審刑事事件表

(8) 第三審刑事事件表

(9) 刑事雜事件表

(10) 豫審事件表

(11) 檢事搜查事件表

(12) 檢事共助事件表

備考 一本表中左側、數字、闕席判決ニ對スル故障事件※印ハ
兩審事件口印ハ、期日指定事件ヲ示スモノニシテ何レモ外書ナリ

一、刑事事件、中、各式手續事件ヲ示シ内書ナリ

二、民事訴訟以外事件、種類左ノ如シ

抗告、和解、督促、及差押及處分、強制執行、不動産競賣、破産、和議、
禁治產、準禁治產、及失踪宣告、小作調停、借地借家調停、人事調停、非訟
事件手續法ニ依リ非訟事件(各種登記、除之共助、其他ノ申請事件)
四、刑事雜事件、種類左ノ如シ
抗告、私訴、并助、怠延申請、重刑請求、刑執行猶豫取消請求、刑事補償請求、
管轄裁判所指定申請等事件

一、自昭和十三年至昭和十七年五箇年間裁判事件累年比較表 (○△印は減少)

種別	昭和十三年			昭和十四年			昭和十五年			昭和十六年			昭和十七年			
	新受件数	前年比	増減	新受件数	前年比	増減	新受件数	前年比	増減	新受件数	前年比	増減	新受件数	前年比	増減	
民事訴訟事件	第一審	五〇・八六〇	△	四六・四三〇	△	四三・三七六	△	四〇・四〇四	△	三五・三五五	△	三二・四〇九	△	二七・四〇九	△	二七・四〇九
	第二審	二・九一七	△	二・六〇四	△	二・六五三	△	二・四九	△	二・六〇七	△	二・四六	△	二・〇七二	△	二・四五五
民事訴訟事件	第三審	八六六	△	七・四一六	△	七・八三	△	七・三	△	七・〇三	△	七・〇	△	七・〇	△	七・〇
	計	五四・六四三	△	四九・七三八	△	四六・〇四五	△	四二・八八一	△	三五・九五六	△	三二・六六二	△	二八・八七七	△	二六・二四五
刑事公判(略)	第一審	四三・七〇一	△	三七・八七七	△	三二・五八四	△	二八・五九四	△	二四・五三八	△	二〇・五三八	△	一七・五三八	△	一四・五三八
	第二審	一・五〇二	△	一・二九一	△	一・二七三	△	一・四八二	△	一・五〇九	△	一・四三二	△	一・四八一	△	一・三三八
刑事公判(略)	第三審	一九七	△	一七九	△	一三二	△	一四七	△	一六九	△	一三七	△	一九九	△	三〇
	計	四五・四〇〇	△	三九・三三七	△	三三・八五七	△	二九・一〇一	△	二六・一〇一	△	二二・五七四	△	一九・一〇九	△	一七・九一八
豫審事件	第一審	七・八	△	六四五	△	五六二	△	七九〇	△	二二九	△	六・五	△	六・五	△	六・五
	第二審	五六	△	四〇	△	三九	△	一〇八	△	六九	△	一一一	△	一一一	△	一一一
豫審事件	第三審	一六	△	一六	△	九	△	一〇	△	一〇	△	一〇	△	一〇	△	一〇
	計	七八〇	△	七〇二	△	六〇九	△	九〇八	△	二九九	△	七三八	△	七三八	△	七三八
豫審事件	第一審	六五〇	△	五九六	△	五六六	△	五九七	△	五六一	△	六三一	△	六三一	△	六三一
	第二審	七・〇	△	七〇	△	六〇	△	九〇	△	九九	△	七三	△	七三	△	七三
豫審事件	第三審	一六	△	一六	△	九	△	一〇	△	一〇	△	一〇	△	一〇	△	一〇
	計	六五〇	△	五九六	△	五六六	△	五九七	△	五六一	△	六三一	△	六三一	△	六三一

總計	同	同
	同	同
一〇、九三三	四、〇五八	一〇、九三三
九、三三三	四、〇三二	九、三三三
九、五五二	四	九、五五二
一八〇	三、四八二	一八〇
九、八七一	三、五八〇	九、八七一
九、六八一	三、八三三	九、六八一
九、一八二	三、八一	九、一八二
九、五七九	三、三九四	九、五七九
三、五七五	四、四六九	三、五七五

備考 下表ニ故障兩審期日指定事件ノ人数ハ

二、判事、檢事一人當負擔内地台灣ノ比較

朝鮮ト内地、台灣トノ判檢事ノ各事務負擔状態
 対比スルニ朝鮮ハ内地ニ比シ著シク加重ニシテ
 台灣ニ比シテハ稍々軽減ヲ示シ昭和十七年中ニ

於ケル朝鮮ノ判檢事一人當負擔歩合ヲ見ルニ
 内地ノ夫ニ對シ判事ニ於テハ十九割四分檢事
 一於テハ十割七分台灣ノ夫ニ對シ判事ニ於テ
 ハ八割檢事ニ於テハ六割ニ相當セリ。而シテ
 朝鮮ノ裁判所及檢事局司掌ノ事件ハ殆ど通譯
 ヲ要スル案ニシテ以テ之ヲ要セサル内地ノ裁判所
 及檢事局司掌ノ事件處理ニ比シ少クトモ二倍
 以上ノ時間ト手數ヲ要スルハ必然ナリ
 次ニ昭和十三年以降五年間ニ於ケル判事、
 檢事一人當負擔内地台灣ノ比較ヲ示セバ別
 表ノ如シ

附表

第一審民事訴訟事件表

昭和十七年

種別	合計		前年越	本年	計	判別	取	和解	其他	計	未済
	事件	議									
民事	3,280	1,048	2,232	6,304	7,536	3,349	1	999	1,177	6,526	1,370
刑事	1,118	1,188	1,188	2,306	3,494	1,478	1	1,188	1,305	2,973	1,140
計	4,398	2,236	3,420	8,610	11,030	4,827	2	2,187	2,482	9,500	2,510

二判事・檢事一人當負擔内地臺灣ト比較

種別	昭和十七年		同十四年		同十五年		同十六年		同十七年	
	内地	朝鮮	内地	朝鮮	内地	朝鮮	内地	朝鮮	内地	朝鮮
定員	2,370	2,370	2,280	2,280	2,370	2,370	2,460	2,460	2,550	2,550
訴訟及豫備	1,700	1,700	1,600	1,600	1,700	1,700	1,800	1,800	1,900	1,900
檢事一人當負擔	1.35	1.35	1.32	1.32	1.35	1.35	1.40	1.40	1.45	1.45
檢事一人當負擔	1.35	1.35	1.32	1.32	1.35	1.35	1.40	1.40	1.45	1.45
檢事一人當負擔	1.35	1.35	1.32	1.32	1.35	1.35	1.40	1.40	1.45	1.45

第二審民事訴訟事件表 昭和十七年

種別	受理		裁決		取下		和解		其他		計
	前年	本年	棄却	既判	棄却	既判	棄却	既判	棄却	既判	
控訴事件	4,138	4,818	261	281	419	333	1	431	1	1	2,362
計	4,138	4,818	261	281	419	333	1	431	1	1	2,362
未済											354

第三審民事訴訟事件表 昭和十七年

種別	受理		裁決		取下		和解		其他		計
	前年	本年	棄却	既判	棄却	既判	棄却	既判	棄却	既判	
上告事件	247	514	62	50	9	1					71
計	247	514	62	50	9	1					71
未済											193

第一審民事訴訟以外ノ事件表 昭和十七年

種別	受理		裁決		取下		和解		其他		計
	前年	本年	棄却	既判	棄却	既判	棄却	既判	棄却	既判	
和親	1	3									4
假差押假處分	1	1									2
假差押假執行	249	191									440
不動産競執	878	347									1,225
破産	23	30									53
和親	1	1									2
禁治産準禁治産	1	47									48
及失踪宣告	1	47									48
小作調停	340	294									634
人事件調停	37	36									73
借地借家調停	47	527									574
非訟事件手續法ニ依ル非訟事件(除登記)	2295	3108									5403
共助	108	180									288
抗告	4	30									34
其他ノ申請	98	512									610
計	4,094	44,234	621	500	9	1		431	1		49,266
未済											336

(817) 第二三審刑事事件表

昭和十七年

種別	受		理		未濟	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
第一審	351	354	10	11	21	24
第二審	55	57	1	1	1	1
第三審	2	2	0	0	0	0
合計	358	363	11	12	22	25

第一審刑事事件表

昭和十七年

種別	受		理		未濟	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
第一審	159	160	1	1	1	1
第二審	55	57	1	1	1	1
第三審	2	2	0	0	0	0
合計	216	219	2	2	2	2

(5) 第二三審民事訴訟以外事件表 昭和十七年

種別	受		理		既濟		未濟	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年
第一審	1	1	1	1	1	1	1	1
第二審	1	1	1	1	1	1	1	1
第三審	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	3	3	3	3	3	3	3	3

(9) 刑事事件表

種別	第一審			第二審			第三審		
	私訴	共助	其他	抗告	私訴	其他	抗告	私訴	其他
前年	六	一	五	二	一	七	二	八	五
本年	一	一	三	一	一	三	一	一	三
計	七	二	八	三	二	一	三	九	八
既済	二	一	六	二	一	九	一	一	六
未済	一	一	二	一	一	一	一	一	一

(10) 豫審事件表

種別	受入			既済			未済		
	前年	本年	計	前年	本年	計	前年	本年	計
豫審事件	二	一	三	一	一	二	一	一	二
種別	二	一	三	一	一	二	一	一	二
計	三	二	五	二	二	四	二	二	四
既済	二	一	三	一	一	二	一	一	二
未済	一	一	二	一	一	二	一	一	二

(11) 検事捜査事件表

種別	受入			既済			未済		
	前年	本年	計	前年	本年	計	前年	本年	計
検事捜査事件	四	三	七	三	三	六	一	一	二
種別	四	三	七	三	三	六	一	一	二
計	七	六	一三	六	六	一二	二	二	四
既済	六	五	一一	五	五	一〇	一	一	二
未済	一	一	二	一	一	二	一	一	二

(12) 検事共助事件表

前年	本年	計
三七	三三	七〇
三九	三四	七三
四一	三三	七四
四三	三〇	七三

五、在監人員累年比較 附内地臺灣ト比較

日韓合併當時即チ明治四十三年末ニ於ケル在
監人員ハ七千二十一ナリレガ爾來漸増シ特
ニ大正八年三月鮮内ニ勃發セル所謂萬歲事件
ニヨリ頗ニ増加シテ同年ニ於テ一萬八千人ヲ
超エタルが大正九年四月恩赦行ハレタルメ
著シク減少シ同年中ノ一日平均人員ハ前年ニ
比シ一十四百八十八人ヲ減ズルニ至レリ。然
ルニ答刑廢止ノ結果大正十年以降再ビ増加
趨勢ヲ示シタリト雖モ短期因ナリレヲ以テ此
増加ハ一時的ニ止マリ大正十二年以降漸減
傾向ヲ示シ概出獄ノ増加ト大正十三年一月
恩赦ニヨリ同年中一萬二千二百九十八人ニ

激減セシモ其ノ後經濟界ノ不況等ニヨリ再ビ
漸増シ昭和二年二月昭和三年十一月昭和九年
二月及昭和十三年一月屬次ノ恩赦アリテ一時
減シタルモ遽増ノ大勢ヲ辿リ遂ニ昭和十三年
中ニ於テ一萬九千五百七十三人ノ記録的多數
ヲ印スルニ至リタルモ爾後若干減少シ殊ニ昭
和十五年二月恩赦行ハレタル爲同年中期ニ於
テ激減セシガ其ノ末期ヨリ更ニ頗増シ來リテ
爾來止ムコトヲ知ラズ昭和十八年九月末ニ於
テハ二萬二千八百八十八人ヲ算シ併合當時ノ
三倍以上ニシテ從來ノ最高記録ヲ示スニ至レ

年次	一日平均在監人員	前年ト比較増減△ハ減
昭和九年	一七、八七六	△一、〇五五
昭和十年	一八、二四四	三六八
昭和十一年	一八、四九〇	二四六
昭和十二年	一九、一七二	六八二
昭和十三年	一九、三九一	二一九
昭和十四年	一九、〇九五	△二九六
昭和十五年	一八、一六四	△九三一
昭和十六年	一七、七四四	一、五八〇
昭和十七年	二〇、八八四	一、一四〇
昭和十八年 九月迄	二二、八八八	二、〇〇四

尚朝鮮ニ在リテハ看守一人當負擔人員左表ニ示ス如ク内地ニ比シ概シテ過重ニシテ殊ニ朝鮮ニ於ケル特殊事情モアリ看守ノ増員ハ急務ナリ

區別	在監人員	看守定員	看守一人當負擔人員
朝鮮	二、三六八九人	二、六一九人	九、〇四弱
内地	四九、二三五	六、四六一	七、六強
臺灣	四、八九九	四、九六	九、八七

備考 携帶兒ヲ算入セズ

六、自昭和十二年
至昭和十七年
五箇年間登記及公證
事件累年比較表



自昭和十三年五箇年間登記及公証事件累年比較表

種別	昭和十三年					昭和十四年					昭和十五年					昭和十六年					昭和十七年									
	件数	増加	減少	増減	増減率	件数	増加	減少	増減	増減率	件数	増加	減少	増減	増減率	件数	増加	減少	増減	増減率	件数	増加	減少	増減	増減率					
不動産登記	17,948	+	-	+	10.5%	17,481	-	-	-	-2.6%	18,751	+	-	+	7.4%	19,914	+	-	+	5.8%	21,256	+	-	+	6.4%	22,887	+	-	+	7.7%
船舶登記	1,521	-	-	-	-8.2%	1,537	+	-	+	1.1%	1,836	+	-	+	19.5%	1,836	+	-	+	0%	2,099	+	-	+	14.3%	2,276	+	-	+	8.5%
借地登記	893	-	-	-	-11.1%	874	-	-	-	-2.1%	927	+	-	+	6.0%	927	+	-	+	0%	973	+	-	+	4.7%	1,041	+	-	+	7.0%
永代登記	15	-	-	-	-66.7%	15	+	-	+	0%	15	+	-	+	0%	15	+	-	+	0%	15	+	-	+	0%	15	+	-	+	0%
敬産登記	5	-	-	-	-100%	5	-	-	-	0%	5	-	-	-	0%	5	-	-	-	0%	5	-	-	-	0%	5	-	-	-	0%
管産登記	5	-	-	-	-100%	5	-	-	-	0%	5	-	-	-	0%	5	-	-	-	0%	5	-	-	-	0%	5	-	-	-	0%
工場登記	35	-	-	-	-100%	35	-	-	-	0%	35	-	-	-	0%	35	-	-	-	0%	35	-	-	-	0%	35	-	-	-	0%
工場登記	25	-	-	-	-100%	25	-	-	-	0%	25	-	-	-	0%	25	-	-	-	0%	25	-	-	-	0%	25	-	-	-	0%
自働車交通事	2,385	+	-	+	15.2%	2,378	-	-	-	-0.3%	2,456	+	-	+	3.3%	2,511	+	-	+	2.2%	2,614	+	-	+	3.9%	2,711	+	-	+	3.7%
自働車交通事	3,393	+	-	+	12.5%	3,358	-	-	-	-1.0%	3,456	+	-	+	3.1%	3,511	+	-	+	1.6%	3,614	+	-	+	2.9%	3,711	+	-	+	2.7%
農家登記	1,135	-	-	-	-11.3%	1,125	-	-	-	-0.9%	1,156	+	-	+	2.7%	1,156	+	-	+	0%	1,156	+	-	+	0%	1,156	+	-	+	0%
農家登記	7,393	+	-	+	5.1%	7,358	-	-	-	-0.5%	7,456	+	-	+	1.3%	7,511	+	-	+	0.7%	7,614	+	-	+	1.4%	7,711	+	-	+	1.3%
法人登記	1,315	-	-	-	-11.3%	1,305	-	-	-	-0.7%	1,356	+	-	+	3.8%	1,356	+	-	+	0%	1,356	+	-	+	0%	1,356	+	-	+	0%
法人登記	7,393	+	-	+	5.1%	7,358	-	-	-	-0.5%	7,456	+	-	+	1.3%	7,511	+	-	+	0.7%	7,614	+	-	+	1.4%	7,711	+	-	+	1.3%
同業組合登記	1,135	-	-	-	-11.3%	1,125	-	-	-	-0.9%	1,156	+	-	+	2.7%	1,156	+	-	+	0%	1,156	+	-	+	0%	1,156	+	-	+	0%
同業組合登記	7,393	+	-	+	5.1%	7,358	-	-	-	-0.5%	7,456	+	-	+	1.3%	7,511	+	-	+	0.7%	7,614	+	-	+	1.4%	7,711	+	-	+	1.3%
朝鮮馬事登記	1,135	-	-	-	-11.3%	1,125	-	-	-	-0.9%	1,156	+	-	+	2.7%	1,156	+	-	+	0%	1,156	+	-	+	0%	1,156	+	-	+	0%
朝鮮馬事登記	7,393	+	-	+	5.1%	7,358	-	-	-	-0.5%	7,456	+	-	+	1.3%	7,511	+	-	+	0.7%	7,614	+	-	+	1.4%	7,711	+	-	+	1.3%
同業組合登記	1,135	-	-	-	-11.3%	1,125	-	-	-	-0.9%	1,156	+	-	+	2.7%	1,156	+	-	+	0%	1,156	+	-	+	0%	1,156	+	-	+	0%
同業組合登記	7,393	+	-	+	5.1%	7,358	-	-	-	-0.5%	7,456	+	-	+	1.3%	7,511	+	-	+	0.7%	7,614	+	-	+	1.4%	7,711	+	-	+	1.3%
同業組合登記	1,135	-	-	-	-11.3%	1,125	-	-	-	-0.9%	1,156	+	-	+	2.7%	1,156	+	-	+	0%	1,156	+	-	+	0%	1,156	+	-	+	0%
同業組合登記	7,393	+	-	+	5.1%	7,358	-	-	-	-0.5%	7,456	+	-	+	1.3%	7,511	+	-	+	0.7%	7,614	+	-	+	1.4%	7,711	+	-	+	1.3%

種別	昭和十三年					昭和十四年					昭和十五年					昭和十六年					昭和十七年									
	件数	増加	減少	増減	増減率	件数	増加	減少	増減	増減率	件数	増加	減少	増減	増減率	件数	増加	減少	増減	増減率	件数	増加	減少	増減	増減率					
工業組合登記	1,135	-	-	-	-11.3%	1,125	-	-	-	-0.9%	1,156	+	-	+	2.7%	1,156	+	-	+	0%	1,156	+	-	+	0%	1,156	+	-	+	0%
工業組合登記	7,393	+	-	+	5.1%	7,358	-	-	-	-0.5%	7,456	+	-	+	1.3%	7,511	+	-	+	0.7%	7,614	+	-	+	1.4%	7,711	+	-	+	1.3%
同業組合登記	1,135	-	-	-	-11.3%	1,125	-	-	-	-0.9%	1,156	+	-	+	2.7%	1,156	+	-	+	0%	1,156	+	-	+	0%	1,156	+	-	+	0%
同業組合登記	7,393	+	-	+	5.1%	7,358	-	-	-	-0.5%	7,456	+	-	+	1.3%	7,511	+	-	+	0.7%	7,614	+	-	+	1.4%	7,711	+	-	+	1.3%
同業組合登記	1,135	-	-	-	-11.3%	1,125	-	-	-	-0.9%	1,156	+	-	+	2.7%	1,156	+	-	+	0%	1,156	+	-	+	0%	1,156	+	-	+	0%
同業組合登記	7,393	+	-	+	5.1%	7,358	-	-	-	-0.5%	7,456	+	-	+	1.3%	7,511	+	-	+	0.7%	7,614	+	-	+	1.4%	7,711	+	-	+	1.3%

備考 一、本表中登録税及手数料は、四位未満切捨、△印ハ減ヲ示ス
二、公証事件及確定日附並信託日附并申請事件中、公証人専属事件ヲ包含セズ

七、公務員ノ犯罪

最近五箇年間に於ケル公務員ノ犯罪檢挙人員ハ別表ノ通り
ルガ昭和十七年ニ於ケル受理總人員ハ一、九四五人、内起訴
及起訴猶豫處分即チ有罪ト認メラルモノ人員ハ一、二四八人
ニシテ之ヲ昭和十六年ニ比スレバ受理人員ニ於テ一八五人、起訴
及起訴猶豫人員ニ於テ二〇六人ノ各増加ヲ示セリ。

51

之が増加ノ原因ハ今遽カニ断定シ得ザル所ナルモ主トシテ人的資
源ノ渾底ニ伴フ一般官公吏ノ素質低下ト物價昂騰ニ因ル一般
下級職員ノ生活難ノ増大竝ニ近時經濟統制ノ擴大強化ニ伴フ
之等下級職員ノ各種統制事務ニ関與セルモノノ増加等ニ因
ルモノト思料セラレモ他面司法當局ニ於ケル斯種事犯ニ對スル

檢挙必罰ノ方針ト相俟チ右ノ如キ増加ヲ見ルニ至リタルモノト想
察セラレ

而シテ昭和十七年中ニ於テ有罪トシテ處分セラレタル犯罪ヲ舉グ
レハ横領ノ三三五人ヲ最多トシ 傷害ノ一三一人、瀆職收賄ノ一
二人、詐欺ノ一〇一人、窃盜ノ一〇一人、文書偽造ノ九四人、價格等統
制令ノ五五人、賭博ノ三八人等之ニ亞ギ、更ニ又之ヲ其ノ職務
別ニ觀ルトキハ邑面職員ノ四七一人ヲ第一位トシ次デ府郡島
職員ノ一九五人、逓信官署職員ノ一七〇人、鐵道職員ノ一〇九人
各種議員ノ七九人、警察職員ノ六九人等ヲ主タルモノトス、
曠古ノ非常時局下益世道人心ノ振作昂揚ヲ期スルノ要特ニ
緊切ナルノ秋率先垂範民衆ノ儀表トシテ其ノ指導的立場ニ在ル

公務員ニシテ其ノ職責ノ重大ナルヲ忘レ取テ非違ノ擧ニ出ツル
が如キハ夫自体官公吏ノ品位ヲ失墜スルノミナラズ延テハ施政
上憂慮スベキ影響ヲ及ボスモノナルヲ以テ斯種犯罪ニ對シテハ
各關係官署ト緊密ナル連絡ヲ保持シツツ大乗的地位ニ立チ斷乎
檢舉嚴罰方針ヲ以テ臨之之が絶減ニ努力シツツアリ。

公務員犯罪人員表 (第一表)

昭 和 十 七 年	昭 和 十 六 年		昭 和 十 五 年		昭 和 十 四 年		昭 和 十 三 年		年 度	
	鮮 人	内 地 人	鮮 人	内 地 人	鮮 人	内 地 人	鮮 人	内 地 人		
一七 一七	二二 八	一四 六二	二九 八	一〇 九五	二八 九五	一四 二八	二一 四	一七 七八	三九 三	受 理
七六 九	五三	六五 六	八五	三五 五	六八	五二 四	二	三三 三	六五	起 訴
三九 一	三五	二六 五	三六	二二 五	五八	二八 六		二五 五	五八	起 訴 猶 豫
五三 六	一三 五	五三 六	一七 四	五一 五	一五 九	六〇 一	二〇 八	五七 九	二七 〇	其 他 不 起 訴
一	三		一		一	一		二	七	移 送
二〇	二	五	二	四 一	一 六	一 六	四		二	未 済

不法監禁		過失傷害		傷害		殺人		瀆職		罪名	内 鮮 別	昭 和 十 三 年
鮮人	内地人	鮮人	内地人	鮮人	内地人	鮮人	内地人	鮮人	内地人	受理		
二		三一	一五八	一七四	一六	三		一〇二	四六	受理	起訴	
二		三	一〇	九七	九	二		三七	二二	受理	起訴	
二		三九	一〇二	二三八	三	二		一四〇	三〇	受理	起訴	
一		一一		一三四		二		一〇一		受理	起訴	
三	二	五九	七六	一七一	二七	四	三	一三二	五一	受理	起訴	
一		六	七	一〇七	一六	二		六〇	二五	受理	起訴	
二		四四	八四	一八二	一七	二	一	一五四	五四	受理	起訴	
一		九	九	一〇六	九	一		九二	二七	受理	起訴	
五	一	六〇	七八	一八六	一〇	二		一六〇	一九	受理	起訴	
二		一〇	五	二二九	六	二		一〇二	一〇	受理	起訴	

賭博		淫重婚		猥褻姦		文書偽造		不敬		罪名	内 鮮 別	昭 和 十 三 年
鮮人	内地人	鮮人	内地人	鮮人	内地人	鮮人	内地人	鮮人	内地人	受理		
四六		一三		一三六	二六					受理	起訴	
三八		二		一〇三	一六					受理	起訴	
三六	二	九		一四七	五					受理	起訴	
三三	二	一		一〇〇						受理	起訴	
三二	一	八	一	八七	六					受理	起訴	
二八	一〇	二		五三	三					受理	起訴	
五二		九	四	一一一	一三	一				受理	起訴	
四四		四	一	七八	九	一〇				受理	起訴	
四三	六	九	一	一二二	七	一				受理	起訴	
三三		四		八九	五	九				受理	起訴	

公務員犯罪人員表(第二表)

計	其他		達		統制令		價格等		因法律		暴行爲		保安法		罪名	
	内 地 人	外 地 人	内 地 人	外 地 人	内 地 人	外 地 人	内 地 人	外 地 人	内 地 人	外 地 人	内 地 人	外 地 人	内 地 人	外 地 人		
二三八	三九三	一七八	四六	一三	二				一						受理	昭和十三年
五八	一三三	七四	一八	一〇	二				一						猶起 豫新	
一四三二	二一〇	一九〇	二六	三三					六						受理	昭和十四年
八一〇	二	一〇九		二三					六						猶起 豫新	
一〇九五	二八五	一三八	五〇	三二					一						受理	昭和十五年
五八〇	一三六	八七	三七	二三											猶起 豫新	
一四六二	二九八	一四一	三五	二五	一	七	二	八							受理	昭和十六年
九二二	一一一	七六	二〇	一六	一	六	一	九	六						猶起 豫新	
一七二七	二三八	二三三	二二	一八	二	六	五	六	一						受理	昭和十七年
一六〇	八八	一七〇	一六	一一	一	五	三	五	一						猶起 豫新	

持法違反	治安維持	選舉規則	朝鮮地方法	横領		恐喝		偽証		詐欺		窃盜	
				内 地 人	外 地 人	内 地 人	外 地 人	内 地 人	外 地 人	内 地 人	外 地 人	内 地 人	外 地 人
二九		六〇	一	一七	四〇	二	七	一八	五	一九	三七	四一	六
一二		一六		一四	二八	六	四	五	一	三三	三七	三〇	四
三九		五九	四	二八	一〇	一	五	二	六	二〇	二五	四八	
三一		三三		一四		九				三六		三八	
三		一五	一	一八	一六	八		一	三	一六	二	五〇	一
二		六		一五	一二	三				三三	六	四〇	九
五〇	一	五七	六	二六	二四	一	四	一	六	二	一七	二四	一一
四三	一	三六	二	一九	一四	四				四六	二	八七	六
五五		一七		三九	一七	八		八	一	二二	一	九二	二九
三三		七		三三	一五	五				一〇	三	七九	二二

公務員犯罪職務別表(第三表)

職員別	受理人員	起訴人員	起訴猶豫人員	計	順位
本府職員	一八	五	七	一二	11
道廳職員	六〇	二二	一一	三三	8
府郡島職員	二八七	一三九	五六	一九五	2
邑面職員	六五九	二八〇	一九一	四七一	1
警察職員	一二八	三八	三一	六九	6
司法部職員	三八	一〇	六	一六	10
學校職員	六七	二三	一四	三七	7
通信官署職員	二一四	一二九	四一	一七〇	3
鐵道職員	二七五	七二	三七	一〇九	4
專賣職員	六	三	一	四	12
稅務署職員	二四	一一	六	一七	9
職員別	受理人員	起訴人員	起訴猶豫人員	計	順位
營林署職員	七	三		三	13
各種職員	一一	六〇	一九	七九	5
其他	四二	二七	六	三三	8
計	一九四五	八二二	四二六	二四八	

備考
一定員現員ハ總テ年度末ヲ基準トス

年 度	昭和十七年	昭和十六年	昭和十五年	昭和十四年	昭和十三年
現定員	一一	一一	一一	一一	一一
檢 査	三三 四五	二二 八九	二二 二七	〇一 七一	〇〇 一九
審 判 長	一一 〇〇	一 七〇	四四 四四	四四 四四	四四 四四
通 譯 官	二二 四四 六六	二二 三五 〇五	二二 二二 八五	一一 九〇 八三	一一 九九 二二
所 長	七七	七七	七七	七七	七七
輔 導 官	三三	三三	三三	三三	三三
保 護 司	一一	一一	一一	一一	一一
通 譯 生 記	一一	一一	一一	一一	一一
通 譯 生 記	三三	五五	五五	五五	五五

備考
一定員現員ハ總テ年度末ヲ基準トス

年 度	昭和十七年	昭和十六年	昭和十五年	昭和十四年	昭和十三年
現定員	一一	一一	一一	一一	一一
檢 査	二二 四四 五六	二二 三五 八四	二二 二二 九二	二二 一一 三八	二二 二二 五五
審 判 長	一一 〇〇	一 七〇	四四 四四	四四 四四	四四 四四
通 譯 官	四四 五五 一一 五五	四四 四三 六三 二二	四四 四四 六六 七六	四四 四四 六六 二八	四四 四三 八六 八六
所 長	七七	七七	七七	七七	七七
輔 導 官	三三	三三	三三	三三	三三
保 護 司	一一	一一	一一	一一	一一
通 譯 生 記	一一	一一	一一	一一	一一
通 譯 生 記	三三	五五	五五	五五	五五

八、裁判所、検察局、刑務所、懲罰所、検防拘禁所、保護観察所、刑務官線習所、供託局、登記所ノ職員(定員、現員)最近五ヶ年比較表

保護教導所職員数最近五ヶ年比較表

昭和十七年	昭和十六年	昭和十五年	年 度
現定 員員	現定 員員	現定 員員	現定 員員
三三	三三	二三	教導官
七八	七八	三八	教導官補
五六	五六	三六	通書 譯 記
三五 四一	二五 三五	一五 五五	教 導

備考
一、昭和十六年三月十日開廳



刑務所職員最近五年比較表

職名	昭和三十六年度末		昭和三十七年度末		昭和三十八年度末		昭和三十九年度末		昭和四十年度末		昭和四十一年度末		昭和四十二年度末	
	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員
典獄	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四
典獄補	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
看守長	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三	一三三
通譯生	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七
警備技手	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
保健技師	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六
保健技手	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七
藥劑師	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
教諭師	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五
教諭師	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
教諭師	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
教師	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
作業技師	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
作業技手	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三
看守(男)	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六	二二六
看守(女)	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五
計	二五七三	二五七三	二五七三	二五七三	二五七三	二五七三	二五七三	二五七三	二五七三	二五七三	二五七三	二五七三	二五七三	二五七三

備考
 昭和三十六年度末看守長定員外臨時設置制ニ依ル
 定員一名アリ

61

刑務官練習所職員最近五年比較表

職名	各年度末	
	定員	現員
教授	—	—
助教	—	—
書記	—	—
計	四	四
	四	四
	四	四
	四	四
	四	四
	四	四
	四	四
	四	四
	四	四

備考昭和十二年五月二十一日開廳